

国立成育医療研究センターでは下記のような研究をしています

研究名：初潮発来時期の予測アルゴリズムの構築

1. 研究の目的

初潮発来時期の予測は女兒のいるご家族において社会的需要が高く、先行研究も少なくありません。初潮発来時期がある程度予測できれば、それに合わせて効果的な初潮教育が行われ、女兒とご家族の不安を緩和できる可能性があります。最新のよりよい統計学的手法を用いて、精度の高い初潮発来時期の予測アルゴリズムの構築を目指します。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：＊すでに公表されている研究（田中 敏章（国立成育医療センター）, 今井 敏子（東洋英和女学院小学部）「縦断的検討による女兒の思春期の成熟と初経年齢の標準化」 日本小児科学会雑誌 109 巻 10 号 1232~1242, 2005 年）で集められた個人情報が含まれないデータを用います。

＊このデータは東洋英和女学院に通学していた生年月が 1983 年 4 月から 1986 年 3 月までの方で、小学 1 年生（6 歳時）から中学 3 年（14 歳時）まで経過観察できた 226 名の身長、体重、思春期のステージ（Tanner stage）、初潮年齢が含まれています。

- ② 研究期間：国立成育医療研究センター倫理審査委員会承認後～2027 年 3 月 31 日まで
③ 研究方法：身長、体重、思春期のステージから初潮年齢の予測アルゴリズムを構築

3. 研究に用いる情報の種類

対象となる方の、身長、体重、思春期のステージ（Tanner stage）とその測定時期、初潮年齢

4. 情報の公表

研究結果は学会発表や学術論文として公表する予定です。

5. 研究実施機関

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ます。

○連絡先：吉井 啓介（研究者責任者）

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 小児内科系専門診療部 内分泌・代謝科

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1 電話：03-3416-0181（代表）